



成果指標				
成果指標	診療報酬収入			
指標設定の考え方	医療用機械器具の導入により、患者に有効な治療を行うものであるが、診療内容等について関係機関の審査を得るため、診療報酬収入を指標として設定した。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	35464	35450	0	0
実 績	39164	39490	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	器具の不具合による医療事故を防止するため、定期的な点検を行う必要がある。また、機器の計画的な更新を行う必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	医療技術の急速な進歩と本施設及び医療機器の老朽化に対して、定期点検と中長期的な医療機器の購入及び整備計画を検討しながら管理に当たる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題